

先端研究拠点事業—国際戦略型—
「ソフトマターと情報に関する非平衡ダイナミクス」
セミナー・シンポジウム 派遣報告書

2014 年 10 月 8 日

| | |
|---------------------|----------------------------|
| 氏名(ふりがな) | 許 インイン (きょ いんいん) |
| 所属機関・部局・専攻内の所属分野 | 東京工業大学 総合理工研究科 知能システム科学 |
| 身分・学年 (学生の場合は指導教員名) | 博士二年 (樺島祥介) |
| メールアドレス | yingxu@sp.dis.titech.ac.jp |
| 電話番号、FAX | 045-924-5625 |

| | |
|------------------|---|
| セミナー・ シンポジウム名 | Spin Glasses: An old tool for new problems |
| 場所 (国名・都市) | フランス Cargese |
| 派遣期間 | 8月24日~9月5日 |
| セミナー等の日程 | 8月25日~9月6日 |
| URL | http://www.lps.ens.fr/~krzakala/WEBSITE_Cargese/home.htm |

今回のセミナーでスピングラスに関する幅広い研究テーマについて俯瞰でき、なかなかないチャンスでした。スピングラスという物質の特殊な性質に感心し、たくさんの応用分野に広がるのは興味深いことだと思いました。今回のセミナー名の通り、歴史の長いスピングラスの研究は、現代になって、その特別な立ち位置が見えてきて、まだまだこの先は掘りつける意味が大きくあることに気づきました。現代科学は他分野と融合することで気づく発見が多く、このようなシンポジウムはとても重要だと思います。

また、世界中の研究者とお話しでき、大変刺激になりました。去年派遣してもらったレジュースで行ったシンポジウムで出会った関連分野の他国の研究者たちと再会でき、スムーズに議論を進むことができました。特にイタリアとフランスグループと研究内容が緊密に関係していますので、共同研究につながる可能性のある議論ができました。もちろん、連続二週間の共同暮らしのおかげで、友情も深めました。せっかくのチャンスですので、積極的に知らない人と交流するのは正しかっただと思います。

そして、ポスターセッションで発表をしてきました。講義と違い、サンシャインの庭でのポスター発表はもっと近い距離で同世代の研究者たちと気軽に交流でき、とても勉強になりました。関心のある研究についても、直接本人に質問できましたので、たくさんヒントをもらいました。

国際舞台で活躍できるような能力を磨くことができ、とても印象深い二週間でした。派遣していただき、心から感謝しています。